

新型コロナウイルスによる苦境を乗り越え 現状打破への一歩を踏み出そう！

緊急事態宣言を経て、陽性患者の数だけいけばやや落ち着きつつあるようにも見える新型コロナウイルス感染症(COVID-19)。しかし第2波第3波が確実視されるなど、コロナ以前の社会に戻るまでにはまだまだ時間が必要です。こうしたなかで、栄養経営士はどのような役割を果たしていくべきなのか、当協会理事からのメッセージをお伝えします。

これまでに学んできたことを
 ここそ現場で実践しよう



一般社団法人日本栄養経営実践協会理事
 ちゅうざん病院副院長 金城大学客員教授
 吉田 貞夫

新型コロナウイルス感染症の拡大は少し落ち着いてきてきているように見えますが、秋以降、再び流行する可能性も十分あります。そう考えると、感染が収まっている夏の間は、秋冬以降のための貴重な準備期間といえるでしょう。

管理栄養士の皆さんにとっても、準備しておくべきことは少なくありません。食材の備蓄はもちろんです。生産地が限定されているような食材については、供給が断たれる可能性を考えたうえで、

のイベントなども中止になるなか、食事しかなかったからといって、例えば行事食が出てきたときの喜びは普段の何倍にもなるでしょう。さまざまな制限があるなかでもできることは必ずあります。それを見つけて、ぜひチャレンジしてみてください。

大変なのは患者さんだけではありません。職員の皆さんも、緊張感のある業務が続き、大きなストレスを抱えています。普段であれば気にならないことがきっかけでトラブルになるケースもあります。栄養経営士の皆さんは、栄養経営士としての組織・チームのつくり方やコミュニケーション、人材教育や育成といった内容について学んできたはず

求められる役割を自覚して 栄養経営士として取り組む



一般社団法人日本栄養経営実践協会理事
 熊本県立大学環境共生学部非常勤講師
 山下 茂子

実践するときです。みんながピリピリしているような状況でも、お互いが協力しあい、それぞれの役割をしっかりと果たせるような職場環境を整える役割を果たしていただくことを期待します。

問に思うことが最初の一歩になるのですが、栄養部門のなかだけで考えているとそういう発想がなかなか出てきません。病院という大きな組織のなかで、自分はどこにいるのかを自覚する必要があります。そう思ったときに自覚的になると、病院のトップが何を考えているのかが理解できるところになります。

新型コロナウイルスの問題でも、病院の経営層が一番恐怖感を持っていると思います。それは責任のレベルが違うからです。現場の職員が感じている怖さは次元の違う危機感を持っている、その温度差を感じること、自分たちがやらなければならないことも自覚と理解できるようになります。組織全体がどのように考えているのか、そのなかで自分は何をやらなければならないのか、栄養経営士の皆さまには、それを感じ取れるアンテナをきちんと張っておいていただきたいと思ひます。苦勞してはあなただけではありません。ぜひ積極的に栄養経営士の輪を拡げていってください。

緊急特集 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)栄養経営士アンケート 第2弾

逆境に負けず活動する栄養経営士たち

前号(2020年4月号)に概要を掲載した栄養経営士・栄養経営サポーターに向け行ったアンケートおよび会員からの活動報告から、COVID-19感染拡大の状況下ですでに新しい活動をはじめている栄養経営士の姿をお伝えする。

CASE1 電話による外来栄養指導



嶺孝雄さん 医療法人社団愛宝会 浜田山病院 (東京・杉並区)

嶺孝雄さんが勤める浜田山病院は整形外科領域を専門としており、患者には高齢者が多い。生活習慣病を患いながらも「今まで栄養指導を受けたことがない」という患者が大半で、指導自体には前向きでも、外来になると1、2回で途絶えてしまふことが多かったという。そこで「外来の栄養指導を継続させ退院後のケアをきちんと行いたい」と嶺さんが院長に訴え「ぜひやろう。最後まで患者さんの面倒をみよう」という方針が決まった。ちょうどそのころ、2020年の診療報酬改定で2回目以降の外来栄養指導での情報通信機器の使用が認められる話を聞いたとい

う。「電話で栄養指導ができるなら、ぜひやりたいと準備を進めていました。たまたまこういった状況になりましたが、おかげで指導が継続できています」(嶺さん)。

電話指導の予約を取るときは「〇日〜〇日の間で朝10時ぐらいに電話します」と、ある程度幅を持たせているという。そうすることで、患者に複数回アプローチでき、指導が継続しやすくなるのだ。また電話指導ではできないことが限られるため「スムーズに行えるよう事前にプランをつくって、どこまで話しかを決めています」。

まず初回の対面指導時に患者の病態を把握し、現在の病態と必要な食事の説明を行っておき、2回目の電話指導のときには、前回の指導についてどこまで理解・実践できているか確認をとって指導を

行う。そのために、どこまでできているかを〇〜3段階で表す評価方式のアンケートをつくってヒアリングし、実践の可否をチェックしている。こうした工夫は、はじめて電話指導を行ったときの「患者がどこまで理解しているかわからず、話を聞くのもこちらが話すのも一方的になってしまった」という反省から生まれたものだ。

この評価アンケート以外に、嶺さんは継続指導用の計画書も作成している。日付と今回の目標、達成度、医師へのコメント欄もあり、時系列で栄養指導が追えるようになっていく。カルテに挟み込んでいるため栄養士以外もチェックできるが、実際に治療にフィードバックされるのはこれからの予定だ。

このほかにも電話指導時の料金の徴収方法の説明や、来院記録が

なくても指導したこと

がわかるようにカルテに「通信機器を使った栄養指導」とコメントを入れるなど、細かいがすり合わせが必要な部分も、事前に他職種と打ち合わせている。

電話指導のメリットとして、栄養指導の継続以外に嶺さんは「時間のムダがなくなったことも大きい」と話す。外来で栄養指導の予約が入っているのに、患者が来ないという経験は病院の管理栄養士なら誰でもあるだろう。外来の待ち時間は待つことしかできないが、電話指導であれば「繋がらなければ別のことをする」とすぐ

に切り替えることができる。突発で急ぎの用件が入れば、少しだけ電話の時間をずらすことで、急ぎの用件と指導の両方に対応することもできる。業務の効率化を考えれば、検討に十分値するだろう。

なお、浜田山病院では、嶺さんが提案して陽性や感染症疑いの患者が出る前に院内で各科の対策マニュアルを作成したそうだ。これは日頃から連絡をとっていた同地区の他病院の管理栄養士から得た情報元になっており、このときに嶺さんは仲間とのつながりの大切さを痛感したという。そのため「新しいことが急に起こっても、周囲の栄養士と普段からコミュニケーションをとっておけば、いざというときに頼ることができ

ます。ぜひ、そういう仲間づくりをしておいてください」と嶺さんは語る。まだしばらくは続くであろう厳しい状況に対応するため、また起こりうる別の新しい事態に対応するためにも、会員の皆様にはぜひ栄養士や多職種とのネットワークを築いておいていただければと思う。

一陽会病院は病床数157床の精神科病院である。その栄養部に在籍する菅家つばささんが「栄養部不在時の給食マニュアル」を作成しようと考えたのは、県内のある組織で陽性患者が発生し、同じ会議に出ていた職員が濃厚接触者に認定されたからだ。病院の非常食マニュアルを確認したら災害用のものしかなく、また高齢者が多い病院の現状にそぐわないものでした」(菅家さん)。

一陽会病院の給食は直営なので、栄養部で1人でも感染者が出たら食事が止まってしまふ可能性が高い。万々に備え、上司に提案してマニュアルをつくりはじめた菅家さんだったが「新型コロナウイルスについてまだよくわからない状態で、ど

れが正しい情報か、何を参考にすれば良いかわからず、なかなか進みませんでした」。

食中毒発生時は外部の仕出し弁当でまかなうよう契約を結んでいた

ので、今回も対応してもらおうと改めて確認したところ、問題が

発覚した。契約時に比べて嚥下食対応が必要

な高齢患者が増えていたり、弁当会社の状況も変わっていたりして、今の入院患者には食事提供できないことがわかったのだ。

そこで食事の種類を常食と嚥下困難食に分け、常食は新たに受注可能なところと契約。嚥下困難食と仕出し弁当が間に合わない期間の常食は、非常食で献立を組むことにした。一般に嚥下食は冷凍のものが多いが、それでは加熱調理が必要になる。そこで常温で長期保存可能な商品を探し出し、無調理での食事提供を可能とした。

非常食での献立は3日分で1セットとし、それをローテーションさせて提供する。栄養面の偏りは栄養補助食品やたんぱくパウダーで補正し、患者に体力があり、人員も確保しやすい昼食に補助食品

を使って栄養を確保できるようにするなど、工夫をこらした。非常食対応期間は、濃厚接触者と認定された職員が勤務できない14日〜1カ月程度とし、その間は栄養部14名がいなくても給食が出せるようになる。また、作成したマニュアルや手順書は院内のPC上にある共有フォルダに入れて、誰でも見られるようにしたそうだ。現在は関係部署と協議し、コミュニケーションの実施を検討している。

「東日本大震災以降、見直しはしているも、その後の高齢者の増加による嚥下困難食の対応が不十分でした。今回しっかり見直しができたので、そこはよかったと思います」と菅家さん。最後に「当院で陽性患者が出たとき、関係各所やマスコミからの問い合わせや電話対応で業者と連絡が取れないことがありました。電話以外の連絡手段や、双方の担当責任者を事前に決めておく」とアドバイスを教えてください。

CASE2 栄養部不在時の給食マニュアルの作成



菅家つばささん 社会医療法人一陽会 一陽会病院 (福島・福島市)

一陽会病院は病床数157床の精神科病院である。その栄養部に在籍する菅家つばささんが「栄養部不在時の給食マニュアル」を作成しようと考えたのは、県内のある組織で陽性患者が発生し、同じ会議に出ていた職員が濃厚接触者に認定されたからだ。病院の非常食マニュアルを確認したら災害用のものしかなく、また高齢者が多い病院の現状にそぐわないものでした」(菅家さん)。

一陽会病院の給食は直営なので、栄養部で1人でも感染者が出たら食事が止まってしまふ可能性が高い。万々に備え、上司に提案してマニュアルをつくりはじめた菅家さんだったが「新型コロナウイルスについてまだよくわからない状態で、ど

れが正しい情報か、何を参考にすれば良いかわからず、なかなか進みませんでした」。

CASE 3
情報通信機器を使用した
歯科医師の訪問診療



大久保陽子さん
社会福祉法人北野会
マイライフ徳丸
(東京・板橋区)

マイライフ徳丸は特別養護老人ホームで、デイサービスやグループホーム、ヘルパーステーションなども併設されている。経口維持加算の算定のため、施設に歯科医師が月1回訪問し、ミールラウンドと会議の出席、6カ月ごとの嚥下機能評価を行っている。しかし、COVID-19の感染拡大により施設の入館制限を開始したため、訪問での歯科診療が中止となった。このままでは2007年から12年間途切れたことのない経口維持の取り組みが途切れてしまい、加算の算定も困難になるという状態が想定された。管理栄養士として勤務する大久保陽子さんは「なんとかして取り組みを途切れさせないようにしたい」と考え、オンライン診療システムを使って「電話再診扱いでの訪問歯科診療の継続」という手法をとった。

訪問歯科医師とは10年以上の付き合いで、すでに強い信頼関係が築かれていることに加え、以前にお試しで使用したことのあるオンライン診療システムが活用できたため、双方の感染リスクをなくすためにも、このシステムで行うことを早々に決定。次回予定の訪問日に実施できるように、すぐに体制をつくったという。

「施設長、看護主任、私の三人で感染症対策委員として新型コロナウイルスウイルス対策を行っており、厚生省等の関係機関からの通達により施設内の対策を講じていました。施設内の入館制限の度合いも日々変わっていきましたので、情報を集約し、自分の判断で動ける状況が今回はプラスに働きました」と大久保さんは語る。

4月8日にはじめてのオンラインによる訪問歯科診療が行われ、大久保さんと介護職員4名、看護師1名の計6名が参加。歯科医師の指示に従いながら、ペンライトで照らした口腔内の状態をタブレット端末で撮影し診療してもらった。「いつもなら口頭で説明する内容も事前資料に掲載して前もって打ち合わせをしていたのと、平時に嚥下機能評価に立ち会っている職員が評価ポイントをおさえて歯科医師に状況を伝えることで、オンラインでもスムーズに評価が行えました」(大久保さん)。



タブレットで撮影して歯科医師に対象者の嚥下状態を確認してもらう

2年 4月分 (4/8)
VE コロナ対策でお休み

ミールラウンド予定者 4F 11:20~嚥下評価 12:00~ミールラウンド

氏名	食形態	年齢	性別	主訴/住居等	薬情報	義歯/その他様子	体重 (kg)	身長 (cm)
1 A様	フレンドー粥	2	4	脳出血(右半身マヒ) 慢性心臓病 糖尿病 脳梗塞	チバラン トラフル プロコン アワン カルシウムD3 400 ランタス ナゾール	義歯有	42.6kg	無
	フレンドー食						16.9	152.5cm
2 B様	フレンドー粥	1	5	認知症・骨粗鬆症 脳梗塞	機転機 3377-1177	無	38.8kg	無
	フレンドー食						15.7	152.5cm
3 C様	フレンドー粥	2	4	左下小腸管性腸梗塞 認知症 変形性関節症	ラジラジール ミネラル 4 有 100mg トルコ 4錠服用	自費 (インフランド) 2週間5回服用 37.5度 37.7度 37.7度 37.7度 37.7度	36.0kg	無
	フレンドー食						16.2	152.4cm

事前資料には最近の様子なども盛り込んで作成している

「オンラインでの訪問診療は新しい試みですが、やっていることが、難しいこと自体は難しいことではありませ

CASE 4
SNSツールを使用した
栄養食事指導



中村達也さん
医療法人大和
大和クリニック
(熊本・熊本市)

いことではありませ

低い。またこれには、指導担当者が患者と24時間つながってしまいうという危険を回避する目的もあるという。「個人のものを使ってしまおうと常時返信できず、職場で使えないが、職場で見られなければ就業時間外まで仕事をすることはありませぬ」(中村さん)。なお、どの頻度で介入するかも、最初に患者と決めておくという。

実際の指導では、患者からその日食べたものの写真と体重や運動量についてSNSに載せてもらい、それを中村さんが職場で確認してコメントを返している。患者が写真を上げるのも、中村さんがコメントを返すのも時間決めていないという。無理なくできる範囲で行うようにしないと、モチベーションが続き継続できなくなってしまうからだ。そのため、患者から写真が来なくてもすぐに指摘せず、数日何もなければ声をかけるようにしているという。

中村さんから患者へのコメントは、食事のアドバイスがあればそ

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
朝食							
昼食							
夕食						報告なし	
体重	104kg	103.5kg	103.5kg	103kg	102.8kg		102.8kg

毎食の内容を写真で記録することで、何をどのくらい食べているか、食事内容がどう変わっているか患者本人にもわかりやすく、行動変容が起きやすくなる

写真を活用することがあるという。「SNSでは対面での指導以上にコミュニケーション能力が必要になりますが、患者の変化がわかりやすく、万が一、極端な食事制限をはじめってしまった場合でも、すぐに気づいて違う改善策を一緒に考えることができま

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

セミナー情報

災害支援チーム(JDA-DAT) スタッフ養成講座 1回目

国内外で大規模な自然災害(地震、台風など)が発生した場合、迅速に被災地内の医療・福祉・行政栄養部門と協力して、緊急栄養補給物資の支援など、状況に応じた栄養・食生活支援活動を通じ、被災地支援を行うJDA-DATのスタッフ育成研修です。

- 日程：2020年8月23日(日)10:00~16:00
- 講演：佐藤貴美子氏
(福岡県保健医療介護部健康増進課健康づくり係)
小野春奈氏
(JDA-DATリーダー 大野城市長寿社会部すこやか長寿課健康長寿担当係長)ほか
- 参加費(税込)：【一般】10,000円
- 会場：ナースプラザ福岡 3階302研修室(福岡市東区馬出4-10-1)
- お問い合わせ：公益社団法人 福岡県栄養士会
TEL:092-631-1160

学会情報

第84回 日本循環器学会学術集会

2020年の日本循環器学会学術集会は、7月27日(月)~8月2日(日)の期間を“The Week for JCS 2020”として、一般演題を含め、当初予定していたほとんどのセッションをライブまたはオンデマンドで配信し、オンライン学術集会として開催されます。

- 日程：2020年7月27日(木)~8月2日(日)
- 講演：萩原正敏氏(京都大学大学院医学研究科生体構造医学講座 教授)ほか
- 参加費(税込)：【コメディカル】9,000円
- お問い合わせ：株式会社コングレ内
第84回日本循環器学会学術集会運営事務局
Mail:jcs2020@congre.co.jp

学会情報

第54回 糖尿病学の進歩

「専門医単位更新のための指定講演」、「糖尿病診療に必要な知識」、「糖尿病療養指導に必要な知識」、「臨床医が知っておくべき糖尿病の基礎」の4つの基本的分野に加え、最近のトピックスを特別企画やシンポジウムとして交えて開催されます。

- 日程：2020年9月2日(水)~9月3日(木)
- 講演：山田悟氏(北里大学北里研究所病院 糖尿病センター)
大杉満氏(国立国際医療研究センター 糖尿病情報センター)ほか
- 参加費(税込)：医療スタッフ:13,000円(当日参加)
- 会場：石川県立音楽堂(石川県金沢市昭和町20-1)
ANAクラウンプラザホテル金沢(石川県金沢市昭和町16番3号)ほか
- お問い合わせ：日本コンベンションサービス株式会社
Mail:54shimpo@convention.co.jp

協会事務局より

2020年8月期限の会員の皆さまへ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を5月中旬に郵送しております。ご確認およびお手続きのほど、よろしくお願い申し上げます。

- 年度会費：有効期限が2019年8月20日~2020年8月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2017年8月20日~2020年8月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 支払期限：7月19日(日)までに指定口座へ振込
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL:03-5289-7021

「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

(こんな方におすすめ)

- ・会場で受講したが、内容を復習したい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1:90分、DISC 2:73分)

- 1.院内・施設内における栄養部門の現状分析
- 2.目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
- 3.業務の質を高めるためのアウトカム分析
- 4.「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
- 5.適材適所の組織マネジメント
- 6.病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3:約30分)

観てわかる!近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

■講師：宮澤 靖 代表理事ほか

■受講料：8,500円(税込) 会員価格：3,850円